



GVRP コマンド

この章は、次の項で構成されています。

- [clear gvrp statistics](#) (2 ページ)
- [gvrp enable](#) (グローバル) (3 ページ)
- [gvrp enable](#) (インターフェイス) (4 ページ)
- [gvrp registration-forbid](#) (5 ページ)
- [gvrp vlan-creation-forbid](#) (6 ページ)
- [show gvrp configuration](#) (7 ページ)
- [show gvrp error-statistics](#) (8 ページ)
- [show gvrp statistics](#) (9 ページ)

clear gvrp statistics

すべてのインターフェイスまたは特定のインターフェイスの GVRP 統計情報をクリアするには、**clear gvrp statistics** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

構文

clear gvrp statistics [*interface-id*]

パラメータ

Interface-id : (オプション) インターフェイス ID を指定します。インターフェイス ID には、イーサネット ポートまたはポート チャンネルのいずれかのタイプを指定できます。

デフォルト設定

すべての GVRP 統計情報がクリアされます。

コマンドモード

特権 EXEC モード

例

次に、gi1/0/4 のすべての GVRP 統計情報をクリアする例を示します。

```
switchxxxxxx# clear gvrp statistics gi1/0/4
```

gvrp enable (グローバル)

Generic Attribute Registration Protocol (GARP) VLAN 登録プロトコル (GVRP) をグローバルに有効にするには、**gvrp enable** グローバル コンフィギュレーションモード コマンドを使用します。デバイスの GVRP を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

gvrp enable

no gvrp enable

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト設定

GVRP はグローバルに無効となっています。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

例

次の例では、デバイスの GVRP をグローバルに有効となっています。

```
switchxxxxxx(config)# gvrp enable
```

gvrp enable (インターフェイス)

インターフェイスでGVRPを有効にするには、**gvrp enable** インターフェイス (イーサネット、ポート チャネル) コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。インターフェイスでGVRPを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

gvrp enable

no gvrp enable

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト設定

すべてのインターフェイスで GVRP は無効です。

コマンドモード

インターフェイス (イーサネット、ポート チャネル) コンフィギュレーション モード

使用上のガイドライン

アクセス ポートは常に単一の VLAN のみのメンバーであるため、VLAN に動的に参加しません。タグなし VLAN のメンバーシップはタグ付き VLAN と同じ方法で反映されます。つまり、PVID をタグなし VLAN ID として手動で定義する必要があります。

例

次に、gi1/0/4 で GVRP を有効にする例を示します。

```
switchxxxxxx(config)# interface gi1/0/4  
switchxxxxxx(config-if)# gvrp enable
```

gvrp registration-forbid

ポートのすべてのダイナミック VLAN を登録解除し、ポートでの VLAN の作成または登録を防止するには、**gvrp registration-forbid** インターフェイス コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。ポートで VLAN を動的に登録できるようにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

gvrp registration-forbid

no gvrp registration-forbid

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト設定

ポートでの VLAN の動的登録が許可されます。

コマンドモード

インターフェイス（イーサネット、ポート チャネル） コンフィギュレーション モード

例

次に、gil/0/2 の VLAN のダイナミック登録を禁止する例を示します。

```
switchxxxxxx(config-if)# interface gil/0/2  
switchxxxxxx(config-if)# gvrp registration-forbid
```

gvrp vlan-creation-forbid

ダイナミック VLAN 作成または変更を無効にするには、**gvrp vlan-creation-forbid** インターフェイス コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。ダイナミック VLAN の作成または変更を有効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

gvrp vlan-creation-forbid

no gvrp vlan-creation-forbid

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト設定

有効

コマンドモード

インターフェイス（イーサネット、ポート チャネル）コンフィギュレーション モード

例

次に、gi1/0/3 でのダイナミック VLAN の作成を無効にする例を示します。

```
switchxxxxxx(config-if)# interface gi1/0/3  
switchxxxxxx(config-if)# gvrp vlan-creation-forbid
```

show gvrp configuration

タイマー値などの GVRP コンフィギュレーション情報、GVRP とダイナミック VLAN の作成を有効にするかどうか、GVRP を実行しているポートを表示するには、**show gvrp configuration** EXEC モード コマンドを使用します。

構文

show gvrp configuration [*interface-id* | **detailed**]

パラメータ

- **interface-id** : (オプション) インターフェイス ID を指定します。インターフェイス ID は次のタイプのいずれかです。イーサネット ポートまたはポート チャネル。
- **detailed** : (オプション) 現在のポートに加えて、現在のポート以外のポートの情報を表示します。

デフォルト設定

すべての GVRP 統計情報は、すべてのインターフェイスに対して表示されます。**detailed** を使用しないと、提供ポートについてのみ表示されます。

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

例

次に、GVRP の設定を表示する例を示します。

```
switchxxxxxx# show gvrp configuration
GVRP Feature is currently Enabled on the device.
Maximum VLANs: 4094
Port(s)  GVRP-Status  Regist-   Dynamic   Timers(ms)
          ration      VLAN Creation   Join   Leave   Leave All
-----
gil/0/1   Enabled           Forbidden Disabled    600    200    10000
gil/0/2   Enabled           Normal    Enabled   1200    400    20000
```

show gvrp error-statistics

show gvrp error-statistics EXEC モード コマンドを使用すると、すべてのインターフェイスまたは特定のインターフェイスの GVRP エラーの統計情報が表示されます。

構文

show gvrp error-statistics [*interface-id*]

パラメータ

interface-id : (オプション) インターフェイス ID を指定します。インターフェイス ID には、イーサネット ポートまたはポート チャンネルのいずれかのタイプを指定できます。

デフォルト設定

すべての GVRP エラーの統計情報が表示されます。

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

例

次の例では、GVRP エラー統計情報を表示します。

```
switchxxxxxx# show gvrp error-statistics
GVRP Error Statistics:
-----
Legend:
  INVPROT : Invalid Protocol Id
  INVATYP  : Invalid Attribute Type  INVALEN : Invalid Attribute Length
  INVAVAL  : Invalid Attribute Value INVEVENT: Invalid Event
  Port    INVPROT INVATYP INVAVAL INVALEN INVEVENT
-----
gil/0/1   0        0        0        0        0
gil/0/2   0        0        0        0        0
gil/0/3   0        0        0        0        0
gil/0/4   0        0        0        0        0
```

show gvrp statistics

すべてのインターフェイスまたは特定のインターフェイスのGVRP統計情報を表示するには、**show gvrp statistics EXEC** モード コマンドを使用します。

構文

show gvrp statistics [*interface-id*]

パラメータ

interface-id : (オプション) インターフェイス ID を指定します。インターフェイス ID には、イーサネット ポートまたはポート チャンネルのいずれかのタイプを指定できます。

デフォルト設定

すべての GVRP 統計情報が表示されます。

コマンド モード

ユーザ EXEC モード

例

次に、GVRP 統計情報を表示する例を示します。

switchxxxxxx# show gvrp statistics												
GVRP statistics:												

Legend:												
rJE :	Join Empty Received					rJIn:	Join In Received					
rEmp:	Empty Received					rLIn:	Leave In Received					
rLE :	Leave Empty Received					rLA :	Leave All Received					
sJE :	Join Empty Sent					sJIn:	Join In Sent					
sEmp:	Empty Sent					sLIn:	Leave In Sent					
sLE :	Leave Empty Sent					sLA :	Leave All Sent					
Port	rJE	rJIn	rEmp	rLIn	rLE	rLA	sJE	sJIn	sEmp	sLIn	sLE	sLA
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----
gi1/0/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
gi1/0/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
gi1/0/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
gi1/0/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

```
show gvrp statistics
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。